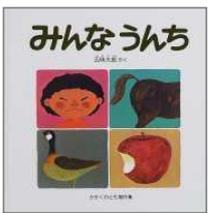
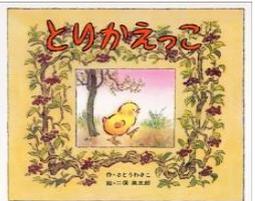
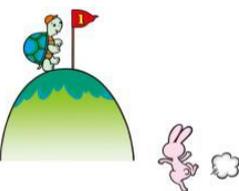
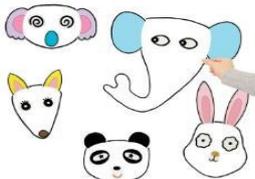


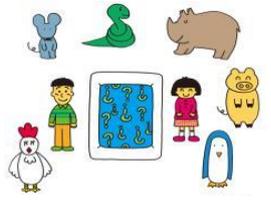
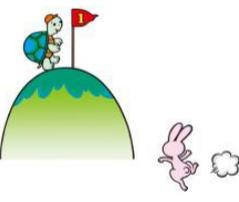
## パネルシアター（PC）

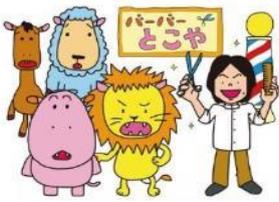
番号	タイトル	内容
PC1	『おばあさんとこぶた』 ポール・ガルドン／画・作	おばあさんが市場でこぶたをいっぴき買いました。でも家の前で立ち往生。そこでおばあさん、犬にほえるよう頼みます。ところが犬は知らんぷり。今度はぼうっきれに犬をたたいてと頼みます。やっぱりぼうっきれも知らんぷり。おばあさんとこぶたは家に帰れるでしょうか？ (絵本『おばあさんとこぶた』(佑学社／刊)より。解説は「復刊ドットコム」より抜粋。私製)
		
PC2	『ちいさなうさこちゃん』 ディック・ブルーナー／作	うさぎのふわふわさんとふわおくさんに、赤ちゃんが生まれました。あちこちから動物が赤ちゃんを見にきます。 (絵本『ちいさなうさこちゃん』(福音館書店／刊)より。解説は同社HPより抜粋。私製)
		
PC3	『ちいさなさかな』 ディック・ブルーナー／作	「ぱんのかげらはないかしら」小さなさかなが泳いでいると女の子がぶくぶく水の中におちてきました。さあ大変……。 (絵本『ちいさなさかな』(福音館書店／刊)より。解説は同社HPより抜粋。私製)
		
PC4	『ぶたたぬききつねねこ』 馬場のぼる／作	子どもの好きな”しりとりあそび”の絵本です。 (絵本『ぶたたぬききつねねこ』(こぐま社／刊)より。"しりとり"部分を抜粋。解説は同社HPより抜粋。私製)
		
PC5	『みんなうんち』 五味太郎／文・絵	子どもにとって興味のある、そして大事な「うんち」をユーモアいっぱいの絵本にしました。「いきものはたべるから、みんなうんちをするんだね」というお話。 (絵本『みんなうんち』(福音館書店／刊)より。解説は同社HPより抜粋。私製)
		

番号	タイトル	内容
PC6	『わたし』 谷川俊太郎／文 長新太／絵	わたしは山口みち子、5才。お兄ちゃんからみると“妹”でも、犬からみると、“人間”。わたしはひとりなのに呼び名はいっぱい。社会関係を楽しく描きます。 (絵本『わたし』(福音館書店／刊)より。解説は同社HPより抜粋。私製)
		
PC7	『桃太郎』 月下和恵 構成 勝山睦美 絵	桃から生まれた桃太郎が鬼ヶ島へ鬼退治に行くおはなしをパネルシアターのしかけと動きで、わくわくドキドキ楽しめることでしょう。
		(アイ企画)
PC8	『とりかえっこ』 さとうわきこ／作 二俣英五郎／絵	遊びにでかけたひよこは、出会った動物たちと次々になき声のとりかえっこをします。帰ってきたひよこの声に、お母さんはびっくり！ (絵本『とりかえっこ』(ポプラ社／刊)より。解説は同社HPより抜粋。私製)
		
PC9	『うさぎとかめ』 秋田桂子／作 わけみずえ／画	イソップ物語の有名なお話です。いつものろのろしているかめに「かけっこしよう」とうさぎが声をかけます。向こうの山まで競争です。かめの一生懸命走る様子を汗で表現したり、うさぎがすごいスピードで走っていく様子を砂けむりで表現することができます。楽器を使ってうさぎとかめの動きをリズムカルに表現すると、より楽しくなります。
		(アイ企画)
PC10	『10人のサンタ』 秋田桂子／作 わけみずえ／画	「10人のインディアン」の替え歌の「10人のサンタ」という曲が解説書に載っています。もみの木がサンタに変わったり、星とプレゼントで、ツリーを飾ったり、楽しみ方いろいろ。おもしろい演じ方を考えてみてください！
		(アイ企画)

番号	タイトル	内容
PC11	『これなあに』 荒木文子 脚本 夏目尚吾 絵	絵人形の動きがユニークな作品。シルエットクイズの意外な答えも楽しみです。  (アイ企画)
PC12	『三びきのやぎとトロルのおはなし』 藤田佳子 構成 吉野真由美 絵	恐いトロルと三びきのやぎの知恵くらべ、力くらべ。わくわくドキドキしながら、子どもたちと楽しめます。  (アイ企画)
PC13	『にんじんさんだいこんさん ごぼうさん』 荒木文子 脚本 夏目尚吾 絵	昔はみんな茶色だった野菜が、どうして今の色になったのか？を子どもたちにわかりやすく伝えてくれるおはなしです。この脚本ではコミカルに、子どもも参加できる構成になっています。  (アイ企画)
PC14	『きつぷはさみのうた』 秋田桂子／脚本 わけみずえ／画	夏休みを前に、どこへいくのかの会話で子ども達の心は弾みます。そんな子どもたちの気持ちに「きつぷはさみのうた(さとうよしみ・作詞／米山正夫・作曲)」はぴったりです。自動改札が多くなりきつぷさりの音は中々聞けなくなりましたが、弾む気持ちをこめて歌いましょう。  (アイ企画)
PC15	『のっぺらぼう』 秋田桂子／脚本 わけみずえ／画	子ども達は怪談話が大好き！「のっぺらぼう」は昔からある、みんな知ってる、怖いけど、ちょっとユーモラスなお話です。この作品はブラックパネルのみならず、ホワイトパネルでも楽しめるようになっています。  (アイ企画)

番号	タイトル	内容
PC16	『ねずみくんのチョコッキ』 	おかあさんがあんでくれた、かわいいチョコッキ。ちよっときせてよ”と動物のなかまたち。あらあら、チョコッキがどんどんのびて…。 (絵本『ねずみくんのチョコッキ』(ポプラ社/刊)より。解説は同社HPより抜粋。私製)
PC17	『カレーライスのうた』 月下和恵 作・画 	「カレーライス」は子どもたちの大好きなメニューのひとつです。リズムカルにかけあいでも歌えて手遊びも楽しめる「カレーライスのうた」は、すぐに覚えられて子どもたちに大人気です。最後のふたをとったら出来上がっている”しかけ”が、いちばんの見せ場です。  (月下和恵 作・画)
PC18	『さ～て、このこはだ～れ?』 	「あ～がりめ、さ～がりめ、ぐるっとまわって～♪」おなじみのフレーズを使い、毛糸のお顔と、表情豊かなおめめの動物たちが現れます。歌いながら子どもと一緒に手遊び・顔遊びもでき、1～2歳児から楽しめる作品です。 (後藤紀子 作/黒須和清/絵)
PC19	『十二支のおはなし』 日本幼年教育研究会 著 宇田川幸子 画 	「来年は〇〇年だよ」「私は〇〇年」。子どもたちにもなじみのある干支。12の干支がどのように決まったのか? ネコが十二支に入っていないわけや、顔を洗ったり、ネズミをみると追いかかわすのはなぜ? …その理由が、子どもでもわかりやすいお話で、楽しく学べます。  (メイト)
PC20	『しりとりおかいもの』 しばはら・ち 作/絵 	ポンちゃん和ポンコちゃんはおかあさんとスーパーマーケットに買い物にいきました。ゆかいなポンちゃん和ポンコちゃんはそのでしりとりです。「スーパーマーケット」の「ト」からはじめてお店の棚にならんでいるもので続けていくのです…聞き手の子ともたちと一緒にしりとりをしていくゆかいなお話です。  (アイ企画)
PC21	『すうじの歌』 古宇田亮順 著 松田治仁 著 	「すうじの”1”はな～に? ♪」ではじまる歌に合わせておこないます。おじいちゃん・おばあちゃん世代にも親しみがあり、小さな子どもも簡単に覚えられます。同時に歌いながらすうじのお勉強もできる、とても楽しい作品です。また、初心者向けの作品なので、初めての方でも演じられます。  (メイト)

番号	タイトル	内容
PC22	『せつぶん』 月下和恵 著 水野ぷりん 画	「おには～そと！」「ふくは～うち！」・・・毎年、2月3日の”節分”の日には、豆をまいて悪い鬼を追い払うという習慣がありますね。でも、どうして豆をまくようになったのか？小さな子にもわかりやすい作品になっています。
		(メイト)
PC23	『とんでったバナナ』 古宇田亮順 著 松田治仁 著	「バナナがいったぼんありました～♪」ではじまるとっても有名な歌のパネル版です。南の空の下からはじまるバナナの冒険は”小鳥”や”ワニ”が登場します。はたしてバナナの運命は・・・軽快なリズムにのってすすめられる楽しい作品です。
		(メイト)
PC24	『バスでおでかけ』 菊池政隆 作 大田理恵 絵	バスにのったら、みんなで一緒に手遊びをしましょう。「頭肩ひざポン」や「しあわせならてをたたこう」など小さい子どもたちから、おじいちゃん・おばあちゃんまで、世代をこえて楽しめる作品です。おひざにだっこでも出来ますよ。
		(アイ企画)
PC25	『ふとんのなかで－ ミュージカルパネル』 増田裕子 作／絵	ふとんの中でねむっている動物や人間をあてっこするクイズ形式のパズルです。しっぽや足、頭などをふとんの中からちょこっとだけ見せてあてっこします。すぐに答を出さず、じらしたりフェイントかけたり、見ている子どもたちと会話を楽しみながら演じてください。
		(アイ企画)
PC26	『うさぎとかめ』 秋田桂子／作 わけみずえ／画	イソップ物語の有名なお話です。いつものろのろしているかめに「かけっこしよう」とうさぎが声をかけます。向こうの山まで競争です。かめの一生懸命走る様子を汗で表現したり、うさぎがすごいスピードで走っていく様子を砂けむりで表現することができます。楽器を使ってうさぎとかめの動きをリズムカルに表現すると、より楽しくなります。
		(アイ企画)

番号	タイトル	内容
PC27	『10人のサンタ』 秋田桂子／作 わけみずえ／画	「10人のインディアン」の替え歌の「10人のサンタ」という曲が解説書に載っています。もみの木がサンタに変わったり、星とプレゼントで、ツリーを飾ったり、楽しみ方いろいろ。おもしろい遊び方を考えてみてください！
		(アイ企画)
PC28	『となりのとこやさん』 佐藤弘道・谷口國博／作 秋元きつね(ノラビット)／絵	みんなの町にもあるとこやさん。なまえは「パーバーとこや」。このお店にはカリスマ理容師がいるんです。よわよわしくて、だめ〜だ、だめ〜だと言われちゃうヒツジや、お友だちができないライオンなど、動物たちの悩みをカリスマ理容師ひろみちが解決します！楽しい歌と振り付けつきです。
		(アイ企画)
PC29	『てをたたこ』 渡辺繁治／作・絵	あそびうた「てをたたこ」に合わせて演じます。パネルシアターを見ながら、数字のかずだけ手をたたいてみましょう！だんだんスピードアップしてみてください。歌に合わせて、パネルの男の子が手をたたいているように動かすことができます。みんなで手をたたきながら一体感が味わえる作品です。パネルシアターを観ているうちに、自然に数字を覚えることができるかもしれません。
		(アイ企画)
PC30	『おばけマンション』 鈴木翼／作 村上康成／画	まあるい月の晩、チーズにトマトジュースにキャットフードを持って、おばけマンション探検ツアーに出発します！ノックをすると入れ歯のドラキュラや、変な料理をする魔女など、おかしい住人たちが現れます。ガイコツの手足がバラバラになったり、化け猫がキャットフードを食べたりと、楽しい仕掛けもあります。
		(アイ企画)
PC31	『これ！だれの？』 浦中こういち／作・絵	おや、こんなところにわすれもの。クリーム絞り袋、のこぎり、はさみ、ミシン、ジャッキまで！いったい、これ！だれの？そこへ、仕事道具をなくして困っている動物たちがつぎつぎとやってきます。さてさて、みんなは大切な道具を見つけて無事にお仕事ができるのでしょうか…。かんたん楽しい、手あそび・楽譜付きです。
		(アイ企画)

番号	タイトル	内容
PC32	『となりのおべんとう』 佐藤弘道・谷口國博／作 秋元きつね(ノラビット)／絵 	えんそくといえば、おべんとう！みんなのお弁当はなにかな？カップや宇宙人のおべんとうって？豊富なパーツを組み替えて、子ども達に質問をしながら、一緒におべんとうを作ることができます。「となりのおべんとう」振り付けはイラスト解説が付いているので、簡単に覚えられます。  (アイ企画)
PC33	『パズル王子』 浦中こういち／作・絵 	パズルの国に、パズルが苦手な王子がいました。王様が出すパズル問題に困った王子は、こっそりとみんなに助けを求めます。観ている子どもたちが問題に挑戦する、参加型の作品です。かんたんな果物から王子のお城までパズルがレベルアップしていくので、広い年齢層で楽しめます。  (アイ企画)
PC34	『まちのおふろ屋さん』 福田翔／作 亀澤裕也／絵 	大好きなおふろやさんにやってきたけんちゃん。おふろに入っていると、泡だらけのだれかがやって来ました。けんちゃんがシャワーで「ジャー」と泡を落とすと現れたのは…。次から次へとやって来るお客さんに、おふろはもうギュウギュウ！シャワーをかける場面では子どもたちもかけ声を合わせて大盛り上がり♪しかけもかんたんなので、初心者でも楽しく演じられる作品です。オリジナルソング「まちのおふろ屋さん」の楽譜付き！  (アイ企画)
PC35	『クリスマスのうたがきこえてくるよ』 新沢としひこ／作 [うた・監修] 鈴木えりん／絵 	「クリスマスのうたがきこえてくるよ」(作詞・作曲 / 新沢としひこ)のうたに合わせて演じたあとは、サンタクロースから届いたプレゼントを子どもたちとあてっこしながら、おはなしを進めます。うたも、おはなしも、パネルシアターならではの楽しいかけも!! クリスマスのお楽しみ会などにおすすめの作品です。  (アイ企画)
PC36	『きっぷはいけん GO!GO! 汽車』 浦中こういち／作・絵 	汽車が発車する前に、運転士さんと一緒に切符をはいけんしに行くことに。5つある車両はどれも個性的な形！長くてギザギザしていたり、耳が付いていたたり…。一体どんなお客さんが乗っているのかな？？さてさて、全員のお切符を無事に確認することができるのでしょうか…。 オリジナルのうたと手あそびが、おはなしをいっそう盛り上げます♪えっ?!と驚く楽しいしかけも満載のカラーパネルシアターです。  (アイ企画)

番号	タイトル	内容
PC37	『くいしんぼおぼけ』 わけみずえ／絵 秋田桂子／脚本	うたの「くいしんぼおぼけ」と、パネルあそび「へんてこおしくらまんじゅう」 二つのパネルシアターは、どちらもユーモアのある楽しい作品です。 ★「くいしんぼおぼけ」 子どもは冷蔵庫が大好き！ 冷蔵庫はいつも何かおいしいものが必ず入っている不思議な箱。 おぼけの子どもたちも、おいしいもののありかをかぎつけて、夜中に冷蔵庫のドアをこっそり開けると… ★「へんてこおしくらまんじゅう」 種類も大きさも違う6匹の動物たち。あんまり仲よく遊びすぎて、ねずみの顔とぶたの体がびたっとくっついて、ねずみの体はどこへ？
(アイ企画)		
PC38	『にじいろのさかな』 マーカス・フィスター／作・絵 谷川俊太郎／訳	世界で一番美しい魚「にじうお」。彼はその美しさゆえプライドが高く、ひとりぼっちになってしまいます。分け合うことや、貸したり見せたりすることの楽しさを教えてくれる展開が見どころです。ホログラムで表現したキラキラのうろこがポイント。
(学研教育みらい)		
PC39	『パパ、お月さまとって！』 エリック=カール／さく もりひさし／やく	世界中の子どもたちを夢中にする絵本「パパ、お月さまとって！」がパネルシアターになりました。絵本の魔術師エリック・カールが生み出すカラフルでかわいいデザイン。「月の満ち欠けのおもしろさ」という視点から子どもたちの「創造性」と「想像力」を育みます。
(学研教育みらい)		
PC40	『ぶたのたね』 佐々木マキ／作・絵	走るのがとても遅いオオカミは一度もブタを食べたことはありません。きつね博士に“ぶたのなる木のたね”と“葉”ともらいますが…。たわわになったブタの木、ゾウのマラソン大会など、ユーモアたっぷりの描写が子ども達を物語の世界へ引き込みます。
(学研教育みらい)		